

3 川健庶第 7 5 0 号

令和 3 年 8 月 1 7 日

市内施設運営法人 代表者 様
市内入所・居住系施設 施設長 様

川崎市健康福祉局長

災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-WELFISS）を用いた
情報伝達訓練について（依頼）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

令和 3 年 7 月 13 日付 3 川健庶第 586 号「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-WELFISS）の活用依頼及び ID・パスワード等の交付について（依頼）」にて通知させていただきました情報伝達訓練について、次のとおり実施いたしますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。なお、暫定運用ルール（案）につきましては事前に E-WELFISS を用いて配布させていただきます。

また、E-WELFISS の ID・パスワードが御不明な場合は、担当まで御連絡ください。

1 日 時 9 月 2 日午後（13 時～17 時）

※ 当初、8 月上旬としておりましたが、変更させていただきます。

※ 実際の主な訓練時間は 14 時～15 時となります。15 時以降はアンケート等を予定しております。

※ 訓練実施時期の変更に伴い、8 月 1 6 日までとしていました改修意見の提出につきましては、本訓練によるアンケート等にて意見集約とさせていただきます。

2 実施目的

E-WELFISS の各メニュー（被害状況機能、施設情報機能、連絡機能）からの入力を実際に実施することで、操作に慣れてもらうと同時にシステムに対する改修意見を提出するきっかけとする。

3 参加者

市役所関連（健康福祉局危機管理担当、高齢者事業推進課、障害者施設指導課、リハビリテーションセンター（南部・中部・北部）、区高齢障害課）

高齢者施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム）

障害者施設（障害者支援施設、医療型障害児入所施設、短期入所施設）

4 協力団体

川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会

川崎市老人福祉施設事業協会

川崎市介護老人保健施設連絡協議会

川崎市障害福祉施設事業協会

5 訓練想定

令和3年9月2日14:00に令和3年台風第10号が川崎市に直撃し、大規模な被害が発生。当被災状況をはじめとした各情報を関係者で共有の上、二次避難所の受入調整（受入施設：3地域リハビリテーションセンター（南部・中部・北部）が中心）を実施する。なお、受入調整にあたり、移動手段の調整は実施せず、可能である前提。

6 訓練概要

①各施設：被害状況の入力（発災直後想定）【被害状況機能】

※地域のハザードマップに応じて入力。

※入力方法は簡易マニュアル2-3-2参照

②各施設：被災情報の関連情報作成【連絡機能】により、川崎市本部員宛（川崎市⇒市職員⇒健康福祉局⇒本部員）に連絡

※入力方法は簡易マニュアル2-6-3参照

③各施設：二次避難所の受入可否を入力【施設情報機能】

・「被災無」と入力した施設⇒二次避難所として受入可能と仮定し、開設状況等入力

・「被害有」と入力した施設については、二次避難所開設不可

④福祉調整本部：福祉調整本部から【連絡機能】を用いて被災状況の詳細を確認

⑤各区：各区は二次避難所（3地域リハビリテーションセンター（南部・中部・北部））の開設状況を確認の上、要援護者の受入調整

⑥訓練終了後、アンケート等を実施

【担当部署】

総務部危機管理担当

大和田 電話044-200-0784

長寿社会部高齢者事業推進課

村越 電話044-200-2469

障害保健福祉部課障害者施設指導課

野口 電話044-200-0082